サイバーセキュリティシンポジウム道後 2026

Cyber Security Symposium in Dogo

多様化・多層化する脅威への挑戦

～デジタル社会のセキュリティ戦略～

会期 2026年2月27日（金）・28日（土）

会場 松山大学（愛媛県松山市文京町4－2）
※一部ハイブリッド方式

主催：サイバーセキュリティシンポジウム道後実行委員会

スケジュール

企業プレゼン

2月27日（金）	テーマ・講師	掲載頁
12:00 ～	入場受付・開場	
12:45 ～（15分）	開会あいさつ・オリエンテーション	
13:00 ～（40分）	**基調講演**「サイバーセキュリティ政策の現状と課題について」 講師　三田　一博 氏　総務省　サイバーセキュリティ統括官	P.6
13:40 ～（40分）	**講演①**「サイバー空間をめぐる脅威の情勢と取るべき対応」 講師　酒井　千尋 氏　警察庁　サイバー警察局 サイバー企画課　課長補佐	P.6
14:20 ～（30分）	展示見学/休憩（協賛・出展企業&団体による幕間映像上映）	
14:50 ～（40分）	**特別講演**「インフォスティーラーによるアカウント侵害の実態とスティラーログ解析によるサイバー犯罪者の活動の可視化」 講師　川崎　真 氏　KELA株式会社 Head of Pre-sales	P.7
15:30 ～（15分）	企業プレゼン①	
15:45 ～（30分）	展示見学/休憩（協賛・出展企業&団体による幕間映像上映）	
16:15 ～（60分）	**パネルディスカッション**「今だからこそ問い直すランサムウェア被害からなにを学ぶか−医療×IR×司法で解くランサムウェア対応−」 コーディネーター　佐藤　公信 氏　国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティネクサス・研究マネージャー パネリスト　須藤　泰史 氏　つるぎ町立半田病院 パネリスト　加藤　智巳 氏　株式会社ラック サイバー・グリッド・ジャパン 主席研究員 パネリスト　冨士﨑　真治 氏　大阪地方検察庁刑事部兼総務部検事 最高検察庁先端犯罪検察ユニット 事務取扱検事	P.8
17:15 ～（15分）	企業プレゼン②	
17:30 ～（ 5分）	休　憩（協賛・出展企業&団体による幕間映像上映）	
17:35 ～（20分）	ナイトセッションプレゼン	P.12
17:55 ～（15分）	休　憩（意見交換会会場へ移動）	
18:10 ～（70分）	意見交換会	
19:20 ～（15分）	休　憩（ナイトセッション会場へ移動）	
19:35 ～（120分）	**ナイトセッション** (1) 経産省のサプライチェーン・セキュリティ対策評価制度(SCS) はありがたい？めんどう？ 座長　丸山　満彦 氏　PwCコンサルティング合同会社　パートナー (2) AIセキュリティの論点整理　～規制・ガイドラインとプロダクトの動向から～ 座長　高橋　正和 氏　株式会社Preferred Networks 副座長　大野　健太 氏　フリー株式会社 (3) 保険屋のひとりごと～サイバー保険の現場からみえてくる法律、インシデント対応等の諸課題～ 座長　神山　太朗 氏　あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 副座長　寺門　峻佑 氏　TMI総合法律事務所　パートナー弁護士 副座長　三国　貴正 氏　株式会社YONA (4) マスコミ報道とサイバーセキュリティー 座長　蔵重　龍 氏　NHK報道局　機動展開プロジェクト　副部長 副座長　浜田　萌 氏　読売新聞東京本社社会部　記者 副座長　絹川　千晴 氏　NHK報道局科学文化部　記者 副座長　濱本 こずえ 氏　NHK報道局　機動展開プロジェクト	P.12 ～ P.14

2月28日（土）	テーマ・講師	掲載頁
9:00 ～	開場	
9:45 ～（ 5分）	開会あいさつ	
9:50 ～（15分）	温泉地プレゼン	
10:05 ～（40分）	**講演②**「NOTICEの取り組み ～ 脆弱性への対処から考えるセキュリティ対策~」 講師　高嶋 香織 氏　国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所 ナショナルサイバーオブザベーションセンター　サイバーオブザベーション運用室　室長	P.18
10:45 ～（40分）	企業プレゼン③	
11:25 ～（35分）	展示見学/休憩（協賛・出展企業&団体による幕間映像上映）	
12:00 ～（40分）	**講演③**「横浜銀行におけるDX推進とセキュリティ対策について」 講師　小貫　利彦 氏　株式会社横浜フィナンシャルグループ　執行役員 株式会社横浜銀行　取締役常務執行役員 講師　西本　逸郎 氏　株式会社ラック　技術顧問	P.18
12:40 ～（40分）	**ランチセッション**「規程管理や内部監査、委託先管理、セキュリティ体制の構築など「文系のセキュリティ」領域をDXするSecureNavi」 登壇者　2線の呑べえ佐藤 氏　SecureNavi株式会社 ※参加は任意ですが、参加者にはSecureNavi様より無償で昼食が提供されます。	P.19
13:20 ～（40分）	展示見学/休憩（協賛・出展企業&団体による幕間映像上映）	
14:00 ～（40分）	**講演④**「民学官連携によるサイバー犯罪対策」 講師　櫻澤　健一 氏　一般社団法人日本サイバー犯罪対策センター業務執行理事	P.19
14:40 ～（40分）	企業プレゼン④	
15:20 ～（25分）	展示見学/休憩（協賛・出展企業&団体による幕間映像上映）	
15:45 ～（40分）	ナイトセッション総括	P.19
16:25 ～（ 5分）	閉会あいさつ	

実行委員長挨拶

実行委員会　委員長
小林 真也（こばやし しんや）
松山大学　教授

通信インフラの高度化やスマートフォンの普及等に伴い、デジタル技術を活用した多様なサービスは国民生活において不可欠なものとなっています。新たなデジタル技術の進展は、生産性の向上や新たなビジネスチャンスの創出をもたらすとともに、労働力不足、地域経済の活性化など、我が国が抱える様々な社会的・経済的課題の解決に資することが期待されています。

一方、IoT機器の増加やクラウドサービスの急速な普及により、あらゆる人がサイバー空間に関わる機会が増える中で、サイバーセキュリティの脅威は年々深刻化しています。サイバー攻撃の手法は多様化・多層化の一途をたどっており、サプライチェーンの脆弱性を狙った攻撃により企業がサービスを停止する事例や、生成ＡＩを利用しランサムウェアが作成された事例が発生するなど、従来の枠を超えた手法も顕在化しています。また、フィッシング等を通じた証券口座の乗っ取りなど、企業だけでなく一般の方を対象とした攻撃も依然として多く発生しています。

サイバー攻撃は目に見えない脅威でありながら甚大な被害をもたらします。政府は、今年５月に成立したサイバー対処能力強化法等に基づき、官民が連携し、より早期かつ効果的にサイバー攻撃を把握し対応する「能動的サイバー防御」に取り組むこととしています。企業・個人においても、ネットワークにつながる一人ひとりが自分ごととしてサイバー攻撃のリスクを認識し、適切な対処をしていくことが重要です。

四国では、「サイバーセキュリティシンポジウム道後（SEC道後）」を10年以上前から毎年開催し、全国から専門家や関心の高い方々を幅広くお招きして、サイバーセキュリティの重要性について広く啓発を図るとともに、参加者同士の連携・交流を深める場として、取組を継続してきたところです。

また、2022年12月に発足したサイバーセキュリティに関する地域コミュニティである「四国サイバーセキュリティネットワーク」では、産学官の幅広い組織の相互連携を促進し、年間を通したセミナー・演習の実施、情報共有の強化等により、四国地域全体におけるサイバーセキュリティに対する意識の向上や人材育成につながる取組を推進しています。

今回のSEC道後は、「多様化・多層化する脅威への挑戦～デジタル社会のセキュリティ戦略～」をテーマに掲げ、サイバー攻撃の手法が一層複雑かつ巧妙になった現代において、増大する脅威にどのように対抗し、安全・安心なデジタル社会を実現していくかについて、最新の政策動向や技術・手法等について専門家や実務者による多角的な視点からの議論を深め、参加者同士のネットワーキングや意見交換を通じ、新たな知見やアイデアを創出する機会となることを期待しています。

SEC道後が、参加される皆様の情報収集と、皆様が関係する組織におけるセキュリティ対策の取組推進に向けた一助となり、安全・安心なデジタル社会の構築と地域の発展に役立てば幸いです。

顧　問

辻井重男（つじいしげお）氏

中央大学研究開発機構 フェロー・機構教授
一般社団法人セキュアIoTプラットフォーム協議会 理事長
東京工業大学（現 東京科学大学）名誉教授

ネットワーク技術は絶え間なく進み、社会は、益々多様化・複雑化しております。多様性が広がるということは、それらの間の矛盾も深まるということを意味しています。我々は､個人の権利・プライバシーを守り、公共的安全性を高めつつ、三止揚・MELT-Up しなければなりません。三止揚とは、正反合の単純な矛盾克服ではなく、ネットワークの利便性、及び、個人の活用・楽しみ・プライバシー保護、そして社会的活用・安全性という相互に矛盾しがち3つの特性を可能な限り同時に高く持ち上げることを意味しております。MELT-Upとは、Management、Ethics、Law　and Technologyの4分野を協調させて、上記の三止揚を可能な限り達成させることです。今回の大会も技術、法制度、倫理、企業運営等の多分野の方々がお集まりになり、この難しい課題に議論を広く深められることと期待しています。技術分野は、比較的価値観を共有し易いのですが、法制度、倫理、企業運営等の分野は、価値観に多様性があり、議論を深められ、参加者各位が認識を高められることを期待しています。

顧　問

下村正洋（しもむらまさひろ）氏

NPO法人
日本ネットワークセキュリティ協会
幹事・事務局長

サイバー空間は今なお劇的な変化を続けています。NISCを発展的に改組し、内閣官房に国家サイバー統括室（NCO）が設置されたことや、サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策制度の検討、さらにはIoT製品のためのJC-STARの開始など、政策面でも一歩踏み込んだ取り組みが進められています。一方で、アサヒビールやアスクル、証券業界を巡る事案に見られるように、サイバーインシデントは一般の生活空間にまで接近し、社会に重大な影響を及ぼすようになりました。こうした状況下で、ベンダー・ユーザ双方の担当者が抱える悩みは深まる一方です。インシデント対応においては、迅速な復旧と被害最小化が不可欠であると同時に、情報公開の在り方についても多様な判断が求められます。本シンポジウムでは、最新の動向に加え、立場の異なる参加者同士が意見を交わすナイトセッションが用意されています。他者の考え方に触れ、自身の経験値を高める貴重な機会として、ぜひ参加をお勧めします。

実施体制、協賛等

❖ 主　催 ❖
サイバーセキュリティシンポジウム道後 実行委員会

❖ 共　催 ❖
情報セキュリティ大学院大学
一般社団法人情報処理学会四国支部
IEEE Shikoku Section
四国サイバーセキュリティネットワーク
総務省四国総合通信局
愛媛大学
松山大学
愛媛県
松山市

❖ 協　力 ❖
ISACA東京支部
ISACA名古屋支部
ISACA大阪支部
ISACA福岡支部
一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会
一般社団法人テレコムサービス協会四国支部
日本ケーブルテレビ連盟四国支部
愛媛県IT推進協会

❖ 後　援 ❖
サイバーセキュリティ戦略本部
国家サイバー統括室
NPO法人ITコーディネータ協会
独立行政法人情報処理推進機構
一般社団法人情報サービス産業協会
フィッシング対策協議会
NPO法人日本ネットワークセキュリティ協会
NPO法人デジタル・フォレンジック研究会
経済産業省四国経済産業局
四国経済連合会
四国情報通信協力会
愛媛県商工会議所連合会
愛媛県情報サービス産業協議会
愛媛県ネットワーク防犯連絡協議会

（順不同）

❖ SEC道後2026 特別協賛 ❖
KELA株式会社

❖ SEC道後2026 協賛・出展企業（団体）❖
アリスタネットワークスジャパン合同会社
株式会社インターネットイニシアティブ
SCSKセキュリティ株式会社
Elasticsearch株式会社
三和コムテック株式会社
GCC株式会社
Ｓｋｙ株式会社
SecureNavi株式会社
ソフトバンク株式会社
大学共同利用機関法人　情報・システム研究機構　国立情報学研究所
TeamT5株式会社
独立行政法人情報処理推進機構
トレンドマイクロ株式会社
日本電気株式会社
Babel Street Rosette株式会社
株式会社VLCセキュリティ
フォーティネットジャパン合同会社
株式会社ベイカレント
万記子コミュニケーションズ合同会社
株式会社マキナレコード
三菱電機デジタルイノベーション株式会社

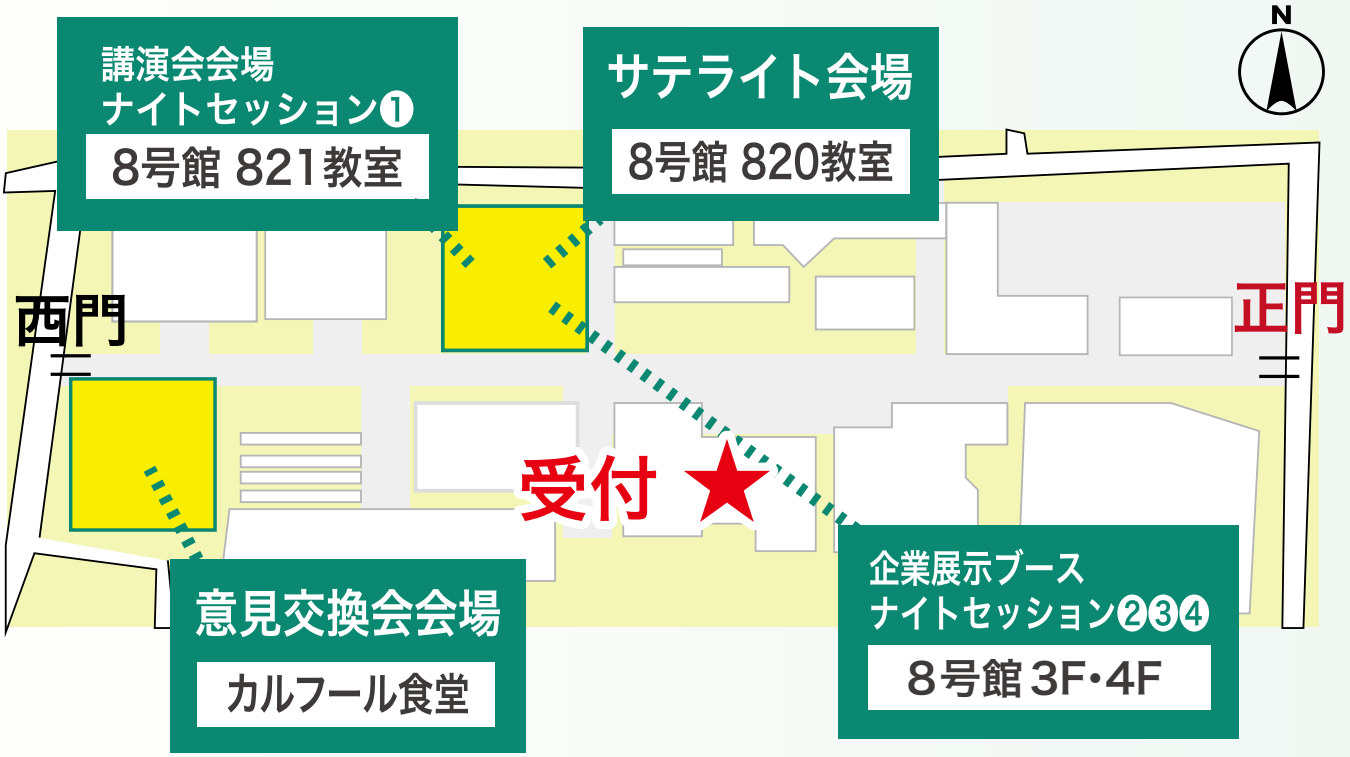
アンカーテクノロジーズ株式会社
株式会社STNet
株式会社エルテス
株式会社くまなんピーシーネット
株式会社TwoFive
東京エレクトロンデバイス株式会社
一般財団法人 日本データ通信協会
一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会
株式会社未来研究所
株式会社ラック
株式会社ラネクシー

株式会社アズジェント
株式会社EZONE
株式会社伊予銀行
株式会社えむぽま
クオリティネット株式会社
一般社団法人セキュアIoTプラットフォーム協議会
株式会社YONA

IEEE Shikoku Section
株式会社NTTデータ四国
愛媛信用金庫
サイエンスパーク株式会社
四国情報通信懇談会
Secu Pi
株式会社ヨドック
レイファーストアドバイザリー株式会社

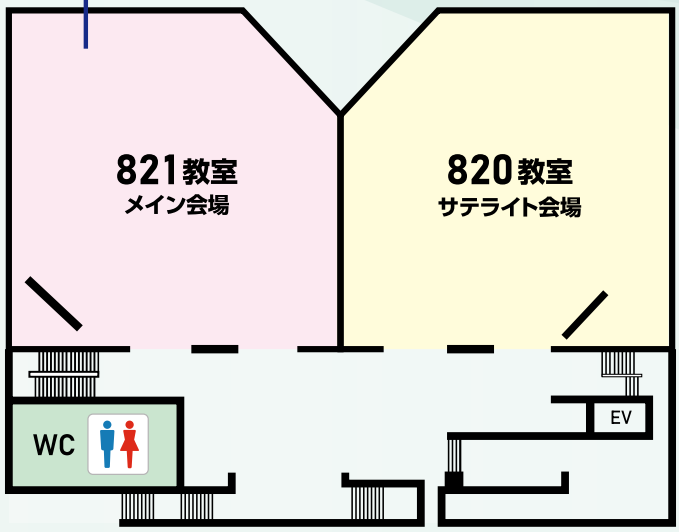
（口数別　五十音順）

【シンポジウム会場案内図】
松山大学キャンパスマップ

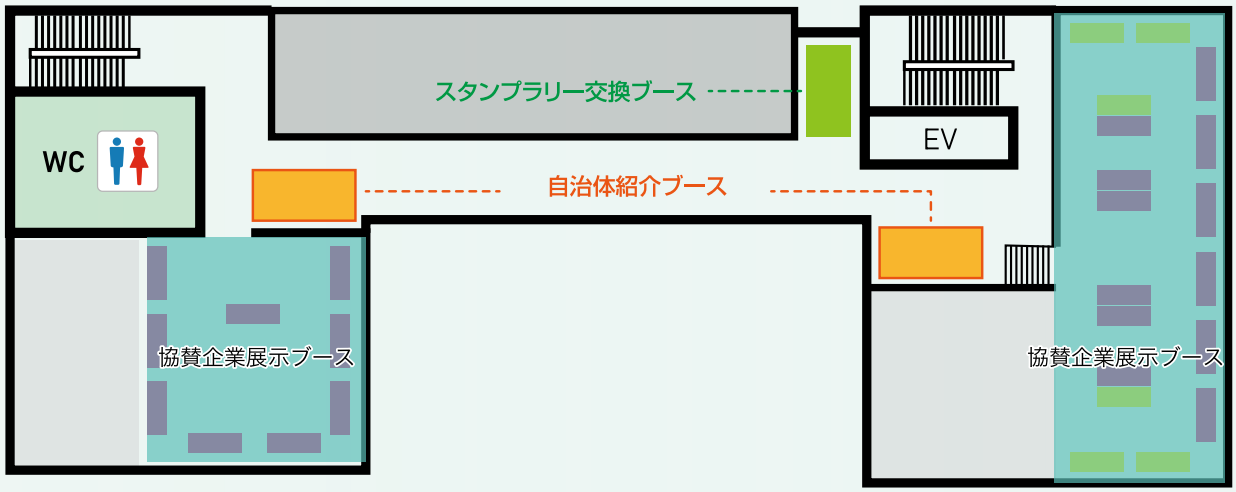


8号館2階

ナイトセッション①
「経産省のサプライチェーン・セキュリティ対策評価制度（SCS）はありがたい？めんどう？」



8号館3階



※協賛企業ブースの詳細は、24ページ以降をご覧ください。

8号館4階

ナイトセッション④
「マスコミ報道とサイバーセキュリティー」

ナイトセッション②
「AI セキュリティの論点整理～規制・ガイドラインとプロダクトの動向から～」

ナイトセッション③
「保険屋のひとりごと
～サイバー保険の現場からみえてくる法律、インシデント対応等の諸課題～」

基調講演　13：00 ～（40分）

サイバーセキュリティ政策の現状と課題について

サイバー脅威が増大する中、政府では、昨年５月に成立したサイバー対処能力強化法の本格施行に向けて準備を進めるとともに、昨年12月に新たなサイバーセキュリティ戦略を策定し取組を強化している。このような政府の政策の概要を紹介するとともに、同戦略により政策的な位置付けが明確化された実践的サイバー防御演習、IoT機器の脆弱性調査・注意喚起、政府機関端末への脅威センサー導入などの総務省施策について紹介する。

【講師】
三田 一博（みた かずひろ） 氏
総務省
サイバーセキュリティ統括官

1992年旧郵政省入省。2025年7月より現職。情報通信分野のサイバーセキュリティ政策を担当するとともに、総務省CISOとして同省及びその独立行政法人等のサイバーセキュリティ確保を担当。2022年から2024年まで厚生労働省サイバーセキュリティ・情報化審議官として同省及びその独立行政法人等のサイバーセキュリティ確保を担当。これまで総合通信局長として東海・北陸地域のサイバーセキュリティ向上に携わる。

講演①　13：40 ～（40分）

サイバー空間をめぐる脅威の情勢と取るべき対応

サイバー空間を取り巻く環境は絶えず変容し、サイバー空間をめぐる脅威は極めて深刻な情勢が続いています。本講演では、警察において把握しているランサムウェア被害等の脅威の情勢、サイバー警察局の取組、被害発生時における対応等についてお話しします。

【講師】
酒井千尋（さかい ちひろ） 氏
警察庁
サイバー警察局サイバー企画課
課長補佐

2018年４月、警察庁入庁。警察庁長官官房企画課、交通局交通規制課、長官官房技術企画課において警察が整備するシステムの合理化に携わった。その後、交通局共通企画課自動運転企画室において自動運転システムの実用化に向けた研究開発を担当する等を経て、2025年10月から現職。

特別講演 **14：50 ～（40分）**

インフォスティーラーによる アカウント侵害の実態とスティラーログ解析による サイバー犯罪者の活動の可視化

ダークウェブ監視に強みをもつイスラエル脅威インテリジェンス大手KELA社ではインフォスティーラー感染により流出した認証情報を約30億も観測しています。このセッションでは感染の脅威・2025年の動向の振り返りと併せて、時には脅威アクター自身が感染・情報流出している具体例をもとに、スティーラーログからアクターの行動、素性のプロファイリングを試みる事例などをご紹介します。

【講師】
川崎（かわさき） 真（まこと） 氏
KELA株式会社
Head of Pre-sales

2020年よりKELA社にて、日本国内の政府・民間企業向けのダークウェブ脅威インテリジェンス活用の支援を担う。それ以前は英国Digital Shadows社カントリーマネージャー、Websense/Forcepoint社日本事業責任者など海外サイバーセキュリティ企業で要職を歴任。CISSP保有。

パネルディスカッション　16：15 ～（60分）

今だからこそ問い直す
ランサムウェア被害からなにを学ぶか
-医療×IR×司法で解くランサムウェア対応-

ここでは、ランサムウェア被害に対し、当事者の視点、インシデントレスポンス、そして検察のフォレンジックという３つの立場から、インシデントハンドリング、初動対応から復旧、証拠保全のポイントを議論します。また、限られた人員と予算でも実装できる平時の備えまで、現場で役立つベストプラクティス共有を目指します。

【コーディネーター】
佐藤 公信（さとう ひろのぶ）氏
国立研究開発法人情報通信研究機構
サイバーセキュリティネクサス・
研究マネージャー

博士（工学），CISSP
国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT） サイバーセキュリティネクサス　研究マネージャー、情報処理安全確保支援士実践講習講師、SEC道後プログラム検討会委員。
高知工科大学　地域連携機構　助教、高知工業高等専門学校　准教授を経て、2017年4月より現職。
CYNEX Co-Nexus Cにおいて、セキュリティトレーニング研究開発運用に従事。SecHack365表現駆動コースコースマスター。

【パネリスト】
須藤 泰史（すとう やすし）氏
つるぎ町立半田病院

1962年生まれ
1986年徳島大学医学部卒業。同泌尿器科学教室に入局、同講師を経て
2003年より町立半田病院（現・つるぎ町立半田病院）勤務
2013年に同病院院長に就任、2020年より病院事業管理者
2021年10月31日ランサムウェア被害により電子カルテシステムが停止し、復旧に2か月を要した。

【パネリスト】
加藤 智巳（かとう ともみ）氏
株式会社ラック
サイバー・グリッド・ジャパン
主席研究員

株式会社ラック サイバー・グリッド・ジャパン（同社研究部門）GMを歴任。主席研究員に従事する傍ら、厚労省や経産省のサイバーセキュリティに係る啓発活動にも注力。
・BC Signpost株式会社　代表取締役副社長（出向中）
・一般社団法人ソフトウェア協会理事／Software ISAC 共同代表
・つるぎ町立半田病院コンピューターウイルス感染事案 現地調査委員会メンバー
・大阪急性期総合医療センター情報セキュリティインシデントにおける厚生労働省派遣専門家チームメンバー

【パネリスト】
富士﨑 真治（ふじさき しんじ）氏
大阪地方検察庁刑事部兼総務部検事
最高検察庁先端犯罪検察ユニット
（JPEC）事務取扱検事

音響・映像系のシステムエンジニアリング会社に勤務後、法科大学院を経て、検事任官（平成20年）。神戸・大阪・名古屋地方検察庁でサイバー係検事を担当。弁護士職務経験制度にて大江橋法律事務所勤務、情報通信研究機構(NICT)派遣等を経て、令和6年4月から現職。ネットワーク利用犯罪等の捜査及び大阪デジタルフォレンジックセンター（DFC）担当検事をしつつ、職員等へのDF捜査手法の研修や支援などに従事。

KELAGROUP

外部脅威に対応した、包括的なインテリジェンス

KELAグループは、「脅威の可視化」、「詳細なインテリジェンス」、「自動化」を融合した包括的なソリューションをご提供します。KELAの比類なき脅威インテリジェンスとアタックサーフェス管理、サードパーティリスク管理が、高度な脅威に能動的に立ち向かう組織のサイバー防御を強化します。

脅威の詳細を可視化 | **検証＆ノイズを低減** | **改善策を提示**

KELA

CTI

KELAは、高度な脅威インテリジェンス機能を駆使してダークネットやディープウェブの様々なソースから情報を収集し、組織のエクスポージャをマッピングします。これにより、外部からアクセス可能なデータや、アンダーグラウンドの脅威アクターの標的になりうる資産を特定します。

- 深い専門知識＆インテリジェンス
- 独自のセキュアなデータレイク
- 資産＆IDに関する実用的なインテリジェンス
- 完全自動化

ULTRARED

CTEM

ULTRA REDのCTEMは、インターネットに接続された組織の資産を特定・分類し、設定状況を評価して、デジタルネットワークの弱点をリアルタイムに表示します。さらに各弱点の改善策を速やかに提示し、組織におけるセキュリティ体制の強化をサポートします。

- 資産を自動特定＆マッピング
- 脆弱性の検知、検証、トリアージ
- 攻撃ベクトルの文書化＆改善策の提示
- 継続的＆徹底的なアタックサーフェス管理

SLING

TPRM

SLINGのTPRM（サードパーティリスク管理）は、重要な取引先や子会社、ベンダー、パートナーのサイバーリスクを評価し、組織の事業継続に影響を及ぼすサードパーティ・インシデントのリスクを低減します。

- インテリジェンスに基づいたスコアリング・アルゴリズム
- ベンダーのリスクを定期的に自動評価
- ノイズの低減

KELA

SecureNavi

文系のセキュリティをアップデートする

文系のセキュリティの課題

ウイルス対策や暗号化といった「理系のセキュリティ」が進化する一方で、規程管理・監査・教育などの「文系のセキュリティ」は、いまだにWordやExcelによるアナログ管理が主流で、非効率な運用が続いています。

文系のセキュリティの具体例

- セキュリティ体制の構築
- 第三者認証
- 教育
- リスクアセスメント
- 内部監査
- インシデント対応
- 社内規程の整備

SecureNaviのサービス

SecureNavi ISMS / Pマーク / ISO27017
SecureNavi コンサルティング
2線の匠クラウド
SecureLight

文書作成 文書管理	規格 ガイドライン 法令	監査	リスク アセスメント	教育	委託先管理	インシデント 対応	セキュリティ チェック シート回答

Fit&Gap ISMAP / SOC2

サービス一覧資料をダウンロード

提供するサービスの一覧資料を、右のQRコードからダウンロードいただけます。ぜひご覧ください。

SecureNavi株式会社
東京都港区港南二丁目15番1号品川インターシティA棟 22階 SPROUND内

お問い合わせは、右のQRコードまたは
下記メールアドレスよりご連絡ください
info@secure-navi.jp

FortiGuard アウトブレイクアラート

フォーティネットのFortiGuard Labsが全世界に有する数百万ものセンサーが
検知した脅威を「アウトブレイクアラート」として提供しています。
日本語でもご覧いただけますので、ぜひご活用ください。

https://www.fortiguard.com/jp/outbreak-alert

React2Shell リモートコード実行

https://www.fortiguard.com/jp/outbreak-alert/react2shell-rce

フォーティネットジャパン合同会社
〒106-0032
東京都港区六本木7-7-7 Tri-Seven Roppongi 9階

お問い合わせ
https://www.fortinet.com/jp/contact

フォーティネットジャパン
https://www.fortinet.com/jp/

ナイトセッションプレゼンテーション　17：35 ～（20分）

【コーディネーター】森井昌克（もりいまさかつ）氏　神戸大学大学院　名誉教授・特命教授

大阪生まれ。1989年大阪大学大学院工学研究科博士後期課程通信工学専攻修了、工学博士。
同年、京都工芸繊維大学工芸学部助手。愛媛大学工学部講師、同助教授、1995年徳島大学工学部教授を経て、現在、神戸大学大学院工学研究科教授。情報セキュリティ大学院大学客員教授。情報理論、サイバーセキュリティ、暗号理論等の研究、教育に従事。加えて、安全・安心に基づくサイバー社会構築に向けての社会活動にも従事。
関係各学会等の委員長、内閣府等各種政府系委員会の委員を歴任。2018年情報化促進貢献個人表彰経済産業大臣賞受賞。2019年総務省情報通信功績賞受賞。AMED（日本医療研究開発機構）プログラムスーパーバイザー。電子情報通信学会フェロー。

ナイトセッション（テーマ毎のディスカッション）　19：35 ～（120分）

セッション(1)

経産省のサプライチェーン・セキュリティ対策評価制度（SCS）はありがたい？めんどう？

経済産業省では、サプライチェーンのセキュリティ状況を可視化するための制度として、サプライチェーン・セキュリティ対策評価制度（SCS）の2027年開始に向けて準備が進んでいます。今回はその制度やその内容について、（1）期待すること、（2）よくわからないこと、（3）課題と思うことについて、みんなで議論をし、議論した結果を制度設計に反映できればと思います。

丸山満彦（まるやまみつひこ）氏
PwCコンサルティング合同会社
パートナー

1992年大手監査法人入社。1998年より2000年まで米国の監査法人に勤務。製造業グループ他米国企業のシステム監査を実施。帰国後、リスクマネジメント、コンプライアンス、サイバーセキュリティ、個人保護情報関連のコンサルティングを実施。2020年6月より現職。
内閣官房、経済産業省、厚生労働省、デジタル庁等の委員、日本情報経済社会推進協会ISMS技術専門部会の委員等を歴任、2004年7月から2013年3月で内閣官房情報セキュリティセンターで情報セキ官を兼務。

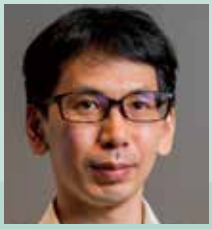
セッション(2)

AIセキュリティの論点整理 ～規制・ガイドラインとプロダクトの動向から～

本講演では、AIセキュリティを巡る論点を、ML/AI開発者とセキュリティ専門家の視点差に着目して整理する。AI・LLMの技術的前提を確認し、国内外の規制・ガイドライン動向と、実際の安全性評価・ベンチマーク結果を紹介する。開発現場におけるセキュリティの位置づけ、従来の脅威モデルが通用しない点を考察し、セキュリティ専門家に求められる課題と実務上の論点を議論する。

高橋正和（たかはしまさかず）氏
株式会社Preferred Networks

ソフトウェア開発、品質管理などを経て、セキュリティコンサルティング事業やMSS事業立上げなどを担当後、2006年よりマイクロソフト社でCSAとして、公共機関や企業などのセキュリティ対策の支援。
2016年よりPreferred Networks社CSOに就任。並行してリスク管理、COVID-19対応なども担当。2023年より、リスク管理、AIセキュリティ・AIガバナンスを担当。
2021年に「CISOハンドブック」、2023年に「CISOのための情報セキュリティ戦略」を出版。



大野健太（おおのけんた）氏
フリー株式会社

フリー株式会社CAIO室AIラボ所属。博士（情報理工学）。前職の株式会社Preferred Networksではエンジニアリングマネージャーとして、機械学習・AIを活用したB2B向けソリューション開発やAIガバナンス体制の構築に従事。2015年より現職、AIに関する研究・プロダクト開発を担当。

セッション(3)

保険屋のひとりごと
～サイバー保険の現場からみえてくる法律、インシデント対応等の諸課題～

IT関連保険（現サイバー保険）に約30年携わる座長（神山）が、保険会社ならではの視点で、サイバー保険の現場からみえてくる諸課題（中小企業の認識および対策状況、最近のインシデント、インシデント発生時の各種法律問題、インシデント対応の現実など複数）を、サイバー分野の法律家（寺門弁護士）、インシデントレスポンスの実務者（三国さん）と共に情報共有・論議していきます。

神山 太朗 氏

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社　リスクコンサルティング支援部　ニューリスクグループ　上席スペシャリスト
IT関連保険（現サイバー保険）の企画・開発・推進・引受審査業務に約30年携わる。
JNSA（日本ネットワークセキュリティ協会）幹事、調査研究部会インシデント被害調査WGリーダー、社会活動部会メンバー
IPA情報セキュリティ 10大脅威選考メンバー、JNSA十大ニュース選考委員

寺門 峻佑 氏

TMI総合法律事務所
パートナー弁護士

弁護士（日本・ニューヨーク州）・情報処理安全確保支援士
NCOタスクフォース等を歴任。国内外の個人情報保護法対応・情報漏えいインシデント対応、プラットフォーム開発・ライセンス関連のIT法務、IT関連の国内外紛争・不正調査案件を主に取扱う。主な著書として、『サイバーセキュリティ対応の企業実務』（中央経済社、2023）、『自社製品・サービスへのサイバー攻撃対応の企業実務』（中央経済社、2025）。

三国 貴正 氏

株式会社YONA

株式会社YONA 代表取締役社長
兵庫県伊丹市出身。2003年、有限会社YONAを設立。
2006年、株式会社YONAへ組織変更、埼玉県川口市へ移転。
アットホームで柔軟な対応をモットーに、システムの設計・開発・運用をはじめ、プラットフォーム診断、ウェブアプリケーション診断、ペネトレーションテスト等の脆弱性診断や、情報システム部門向けセキュリティコンサルティング、フォレンジック調査等を行っている。

セッション(4)

マスコミ報道とサイバーセキュリティー

当局や被害企業、ベンダー、犯罪グループなどの取材にあたっている若手の記者から「暗号資産とデジタル犯罪」「証券口座乗っ取り」「ランサムウエア攻撃」「性的ネット広告」「なりすまし投資詐欺」「子どもとＳＮＳ」などのテーマで取材の舞台裏を語ってもらい、より多様化・多層化が求められているマスコミのサイバーセキュリティー報道について座談会形式で話し合う。セッション参加のみなさんからご意見をうかがう機会にしたいです。

蔵重 龍（くらしげ りゅう）氏

NHK報道局
機動展開プロジェクト
副部長

大阪局や松山局、ネットワーク報道部、科学・文化部などを経て、現在、報道局「機動展開プロジェクト」所属。ＡＩデジタル調査報道や偽情報・フェイク対策を担う。Ｎスペ「子どもを狙う盗撮・児童ポルノの闇」「中国・流出文書を追う」。クロ現 「ネット広告の闇」シリーズ、「ＳＮＳ型投資詐欺」「性的ディープフェイク」「証券口座乗っ取り」「相談相手はＡＩ？」。未解決事件「ビットコイン巨額窃盗事件」などを企画・取材・制作。

浜田 萌（はまだ もえ）氏

読売新聞東京本社社会部
記者

2010年読売新聞東京本社入社。新潟支局、長岡支局にて事件事故、行政、選挙などの取材を経て2016年から東京社会部。読売KODOMO新聞、都内自治体、農林水産省などを担当し、25年４月からネット取材班にてサイバーセキュリティー、子どもとSNS、生成AI、ネット広告などインターネットをめぐる課題を取材。

絹川 千晴（きぬがわ ちはる）氏

NHK報道局科学文化部
記者

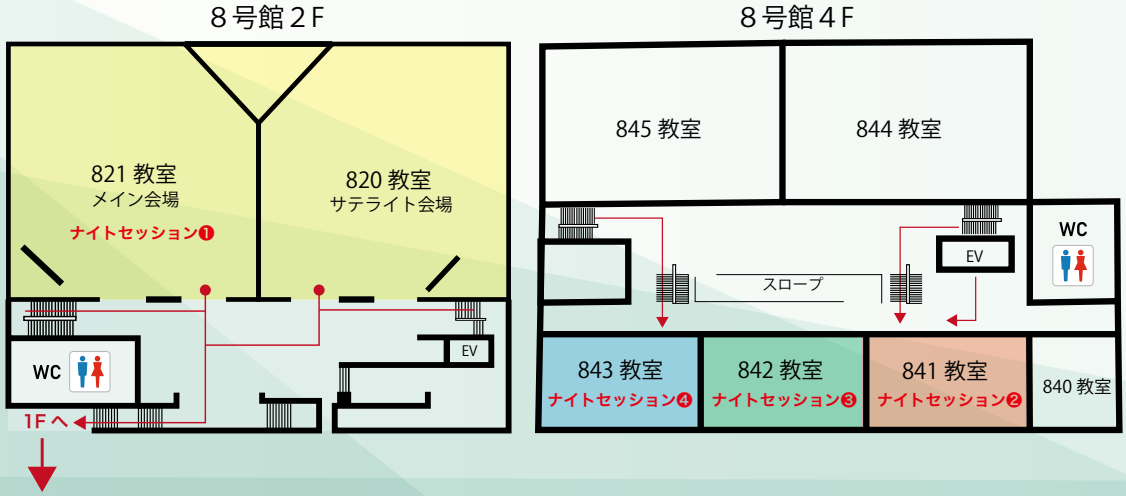
NHK報道局取材センター 科学・文化部記者
一橋大学社会学部卒業。2016年NHK入局後、和歌山放送局、京都放送局で主に防災や事件取材に従事。2023年より科学・文化部で、消費者問題や、ネット広告、偽誤情報対策、SNS型投資詐欺などネット空間の身近な話題を幅広く取材。半年前からサイバーセキュリティ取材のメイン担当に。

濱本 こずえ（はまもと）氏

NHK報道局
機動展開プロジェクト

2025年8月よりNHK報道局 機動展開プロジェクトに所属し、人口問題、安全保障、IT分野など幅広く取材中。函館、大阪局を経て国際部の記者として主にアメリカを担当。取材以外では、NHKが海外から映像を入手するための伝送システムの管理や、AIを活用した新規システムの開発業務などを経験。新卒で入社した証券会社では住宅設備関連株のアナリスト業務を担当。未解決事件シリーズでマウントゴックス事件を取材。

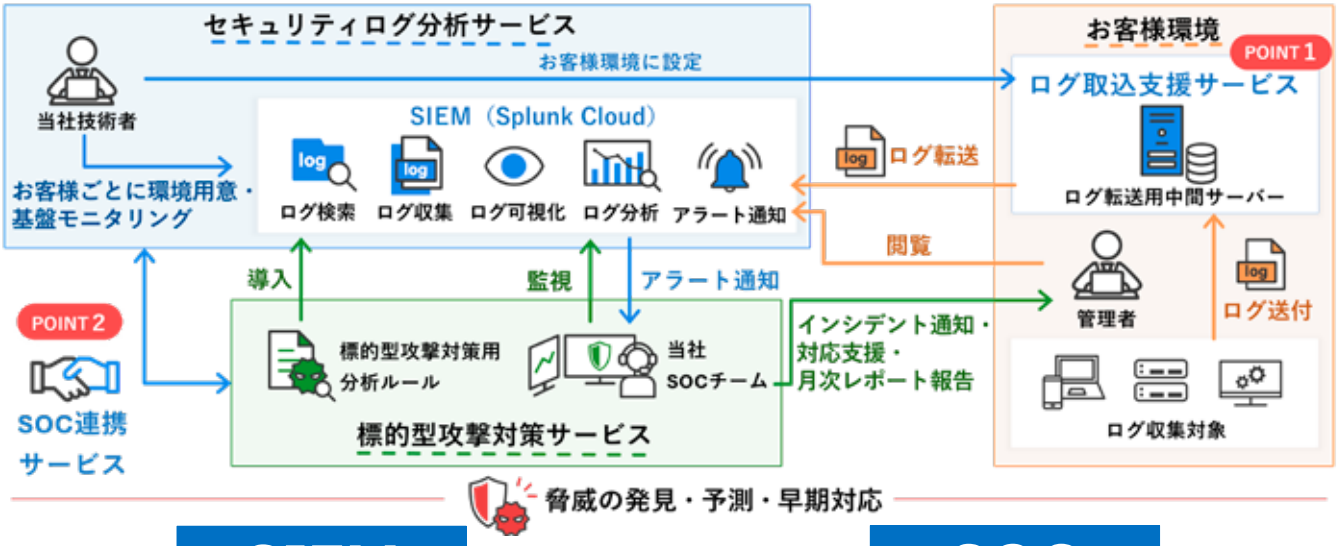
ナイトセッション会場案内



セキュリティログ分析サービス

SIEM×SOCで、サイバー攻撃対策

セキュリティログ分析サービスで、ガイドライン準拠をスマートに。



SIEM

POINT 1

SIEM導入時の課題となる
ログの取り込みを支援

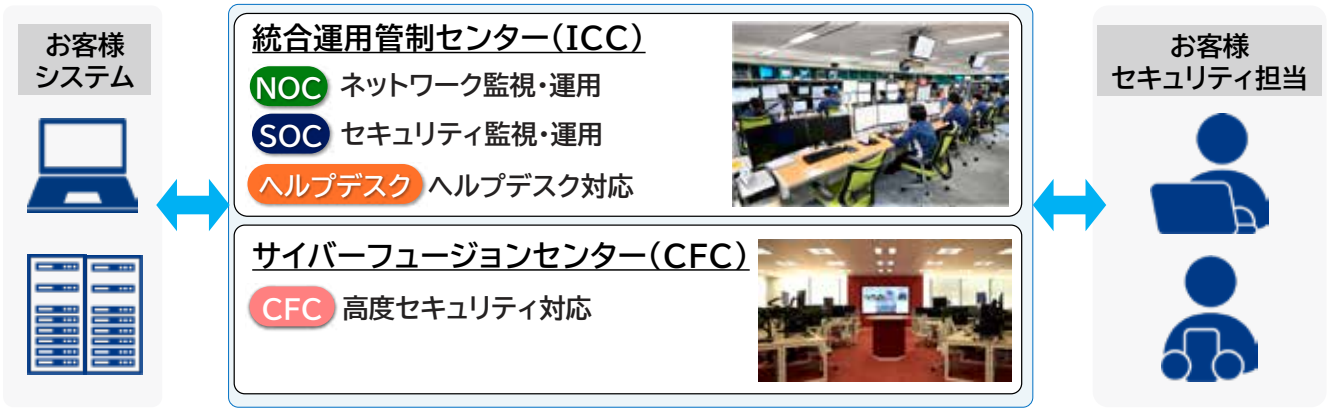
×

SOC

POINT 2

SIEM運用時の課題となる
インシデント検知を支援

SOC運用では、当社セキュリティ専門家の常時監視で、お客様の運用負荷を軽減します。



※SIEM…Security Information and Event Management　※SOC…Security Operations Center　※NOC…Network Operations Center

三菱電機デジタルイノベーション株式会社

MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

SCSKセキュリティ株式会社

■SCSKセキュリティについて■
SCSKセキュリティは、サイバーセキュリティ対策に特化したSCSKグループの専門事業会社です。SI事業で培ったコンサルティング・基盤構築・運用サービスと、最新技術を活用した高品質なプロダクトを組み合せることで、顧客企業のサイバーセキュリティリスクを低減するとともに、セキュリティ領域における投資対効果を最大化させ、安心・安全な社会の実現に貢献いたします。

■提供サービス■

セキュリティ コンサルティング	セキュリティ運用	セキュリティ プロダクト
• セキュリティアセスメント • 脆弱性診断 ・ASM • ペネトレーションテスト • CSIRT評価・体制構築支援 • セキュリティ教育等	• SCSK SOC • リテイナーサービス • ダークウェブモニタリング • サイバーハイジーン支援 • セキュリティアドバイザリ • Unit42®	• SIEM/XDR • EDR • WAF • IPS/IDS • SASE • ITAM/ITSM

■これまでの実績の一部■

サービス	サービス概要	実績
コンサルティング サービス	• アセスメントサービス(NIST/CSF他) • セキュリティ規定策定 • CSIRT構築支援 ・インシデントレスポンス教育	約200件
脆弱性診断サービス	• Webアプリケーション診断 • ネットワーク/プラットフォーム診断 • ペネトレーションテスト	約4,500件
SIEM関連サービス	• 導入効果サーベイ ・分析ルール策定 • 運用支援	約300件
CSIRT支援サービス	• 脆弱性情報配信 ・インシデント対応 • セキュリティ相談 ・ASM	12社

主な社会活動

① ISACA/CISM委員会 委員(講師/インベント開催支援)
② IPA情報セキュリティ10大脅威 選考会メンバー
③ コンシューマ向けIoTセキュリティガイド
(日本ネットワークセキュリティ協会)
④ セキュリティ対応組織(SOC/CSIRT)強化に向けた
サイバーセキュリティ情報共有の「5W1H」
(日本セキュリティオペレーション事業者協議会)
⑤ CTF参加(世界最大のセキュリティイベント DEFCON他)

主な加盟団体

① 日本セキュリティ監査協会(JASA)登録事業者
② 日本セキュリティオペレーション事業者協議会(ISOG-J)
③ OWASP(Open Web Application Security Project)
コーポレートスポンサー
④ 日本シーサート協議会 会員
⑤ CSA(Cloud Security Alliance)ジャパン 会員

SCSKセキュリティ株式会社 164-0061東京都江東区豊洲3-2-20 <URL>https://scsksecurity.co.jp/ <MAIL>sys-info@scsksecurity.co.jp

BLACKPANDA

サイバー攻撃を受けた時に出動する

サイバー消防隊です。

新時代の対策は「守る」だけではありません。
受けた時にいかに早く復旧するか
「計画」と「準備」をすることです。

100%の防衛は無理だからこそ
Blackpandaでいざという時の備えを

火事と同じく「備え不足」が最大のリスクに

- セキュリティの専門人材がいない
- 初動対応の判断に自信が持てない
- 攻撃を受ける前提で対策を行っていない。あわててのベンダー探し

2,386万円

※JNSA インシデント損害額レポート 2024年

事前契約型のサイバーインシデント対応出動サービス

IR-1

3つのメリット

Speed　速さ
被害が拡大するその前に。迅速な対応で、止血と封じ込めを確実に

Quality　質
攻撃者の動きや原因をしっかりと調査し、再発防止のための推奨策をご案内

Cost　価格
業界水準の通常サービス価格の最大1/10の価格でご提供

Frost & Sullivan's Company of the Year APAC Incident Response 2024

Frost & Sullivan's Company of the Year APAC Incident Response 2025

SoftBank
ソフトバンク株式会社　セキュリティ事業第1統括部 セキュリティデザイン推進部
SBTMGRP-security-plan@g.softbank.co.jp

講演②　10：05 ～（40分）

NOTICEの取り組み
- 脆弱性への対処から考えるセキュリティ対策 -

IoT機器のセキュリティ対策向上を推進することにより、サイバー攻撃の発生や、その被害を未然に防ぐためのプロジェクト［NOTICE］の取り組みをご紹介し、NICTが継続して行なっている日本国内のIoT機器の観測状況や脆弱性対処の現状について実例とともにお伝えします。

【講師】
高嶋 香織（たかしま かおり）氏
国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
サイバーセキュリティ研究所
ナショナルサイバーオブザベーションセンター
サイバーオブザベーション運用室 室長

2021年にNICTに入所以来、ナショナルサイバーオブザベーションセンターにて脆弱なIoT機器観測・分析に従事。NOTICEプロジェクトを通じて、脆弱なIoT機器減少を目指しステークホルダーと共に日々対応中。

講演③　12：00 ～（40分）

横浜銀行におけるDX推進とセキュリティ対策について

本講演では、横浜銀行におけるDX推進とそれに伴うセキュリティ対策についてご紹介します。お客さま向けチャネルの利便性や従業員の生産性向上、経営戦略を支えるITインフラ整備、経営層のセキュリティ認識、インテリジェンス活動、地域金融機関・業界団体との共助について解説します。地域金融機関に期待される役割を果たすため、DXとセキュリティの両立が未来の成長の鍵となることを、経営者の視点からお伝えします。

【講師】
小貫 利彦（おぬき としひこ）氏
株式会社横浜フィナンシャルグループ　執行役員
株式会社横浜銀行
取締役常務執行役員

1991年に横浜銀行へ入行し、営業店勤務を経てシステム部門へ異動。以降、システム開発、SLA・予算管理、アウトソーシング、共同化、IT戦略策定など幅広い業務を担当。2020年よりコンコルディア・フィナンシャルグループ、横浜銀行、東日本銀行の執行役員、2023年から横浜銀行常務執行役員、2025年より現職。現在は横浜銀行、東日本銀行、神奈川銀行、L&Fアセットファイナンスの IT全般を統括している。

【講師】
西本 逸郎（にしもと いつろう）氏
株式会社ラック
技術顧問

サイバーセキュリティ対策のリーディング企業「株式会社ラック」にて、日本のセキュリティ対策に25年にわたり奔走。同社代表取締役社長を経て、2025年3月より現職。プログラマとして数多くのシステム開発や企画を担当。2000年より、サイバーセキュリティ分野にて新たな脅威への研究や対策に邁進。分かりやすさをモットーに、講演や新聞・雑誌などへの寄稿、テレビやラジオなどでコメント多数実施

ランチセッション　12：40 ～（40分）

規程管理や内部監査、委託先管理、セキュリティ体制の構築など「文系のセキュリティ」領域をDXするSecureNavi

EDRなどの理系のセキュリティが日々進化する一方で、認証対応や規程管理、監査といった文系のセキュリティ領域は、いまだアナログな運用が主流です。SecureNaviは、認証や規制、ガイドラインへの準拠、規程整備、監査や審査といった、文系のセキュリティ領域をAI活用しながらDXします！

【登壇者】

2線の呑べえ佐藤（にせんのんべえさとう）　氏

SecureNavi株式会社
スリーラインモデルにおける2線の方向けの2線の匠クラウドISMAPやSOC2などの認証規格などを統合管理するクラウドの部長

元2線（セキュリティ）実務者。現在は企業の2線部門を支援するコンサルとして活動中。システム監査、委託先管理などの現場経験を基に、「本音で語れる2線の支援者」として、情報発信やコミュニティ作りに取り組んでいます。モットーは「今日のリスクは飲み干す」。

講演④　14：00 ～（40分）

民学官連携によるサイバー犯罪対策

JC3は、サイバー空間の脅威が深刻化する中、フィッシング等の金融犯罪、クレジット不正利用等のｅコマースをめぐる犯罪、ランサムウェア攻撃等による情報流出と恐喝、サポート詐欺、脅威情報等の分野で産学官（警察）それぞれが持つ具体的情報と対処経験を集約・分析し、脅威を特定、軽減及び無害化する活動を進め、国内外での犯罪検挙にも貢献しています。今回の講演では、具体的な脅威に関する情報や対策に関するノウハウを皆様にご紹介します。

【講師】

櫻澤健一（さくらざわけんいち）　氏

一般財団法人
日本サイバー犯罪対策センター
業務執行理事

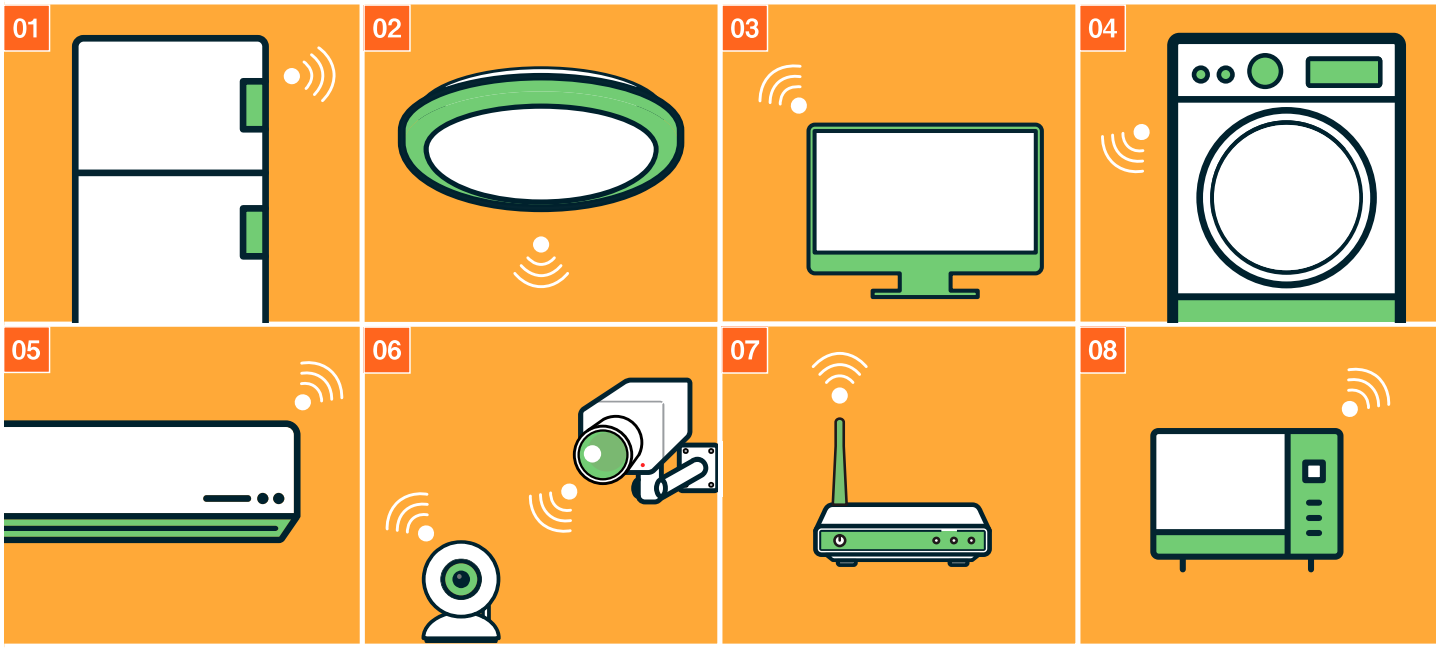
1988年警察庁入庁。富山県警察本部長、内閣情報調査室審議官、警察庁総括審議官等を経て、2022年8月警備局長で退官。テロやサイバー攻撃等に対する情報収集分析や対策、災害対策、大規模警備等を担当する警備部門や組織管理部門を中心にキャリアを積んだ。特に、アメリカ同時多発テロ事件以降は、インドネシアでの大使館勤務や我が国の国際テロ対策・インテリジェンスの中核ポストを務めた。2023年1月から現職。静岡大学情報学部客員教授。

ナイトセッション総括　15：45 ～（40分）

コーディネーター　**森井昌克（もりいまさかつ）　氏**（神戸大学大学院　名誉教授・特命教授）

※開催当日のご案内とさせていただきます。

Q.
セキュリティ対策が必要な家電はどれでしょう？



A.全部

インターネットにつながる電化製品〜IoT製品〜は、
外出先からの遠隔操作や見守り、
家電同士の連携、機能のアップデートなど、
暮らしをより便利にしてくれます。

ですがインターネットにつながることは、
知らず知らずのうちに外の世界との間に
「見えない玄関」を作ってしまうということ。

家の玄関に鍵をかけるように、
ネット家電の見えない玄関にも鍵を。
それが、これからの家電選びの常識です。

では、セキュリティ対策された
安心ネット家電を選ぶには？

**これからのネット家電選びは、
この星を目印に。**

JC-STAR

JC-STAR適合ラベル

セキュリティ水準達成レベル
（★1〜★4）

製品詳細情報へのリンク

登録番号

**星のラベルの二次元コードをスマホで読み取り、
セキュリティ情報をリアルタイム＆かんたんチェック！**

適合ラベルの有効期間内は、セキュリティ対策向上のための更新プログラム提供
などのサポートが約束され、安心して使い続けることができます。
有効期限切れなどの情報も、簡単に確認できます。

IPA 独立行政法人情報処理推進機構
Information-technology Promotion Agency, Japan

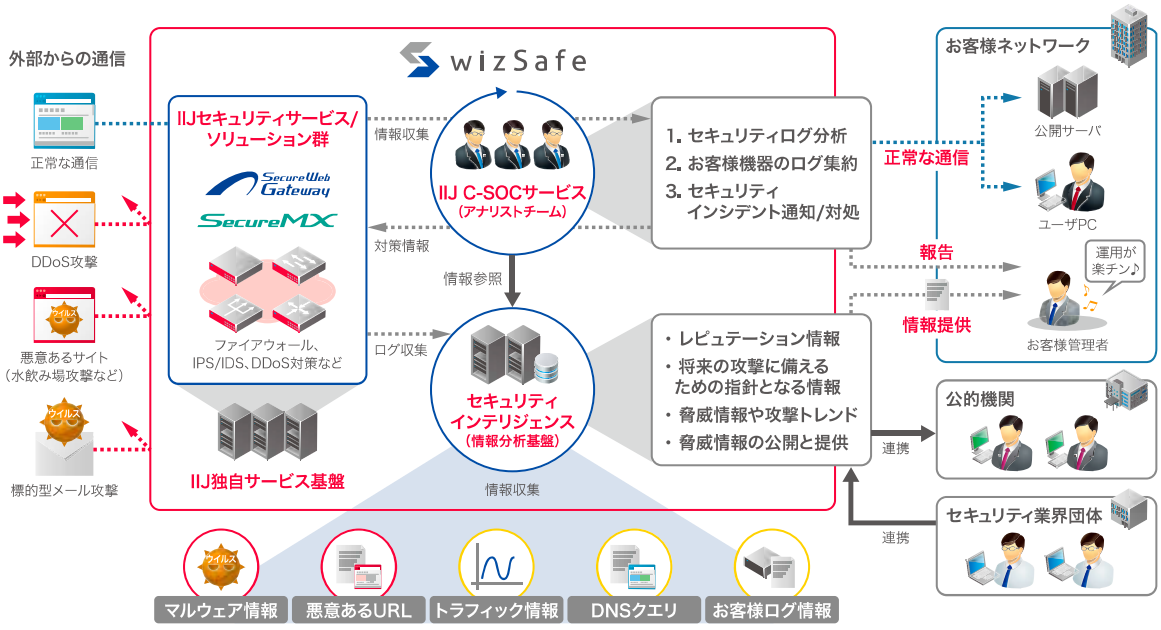
くわしくはホームページで！
https://www.ipa.go.jp/security/jc-star/label-description.html

IIJセキュリティ「wizSafe（ウィズセーフ）」

wizSafe
安全をあたりまえに

日本のインターネットを支えてきた「熱い思い」
新たな脅威からお客様を守り続ける「技術力」
すべての人が安心できる世界を実現するのは「IIJ」

wizSafe（ウィズセーフ）は、お客様の安全を実現するために行う
IIJのセキュリティの取り組みを総称するブランドです。



wizSafeブランドコンセプト

社会を支える 安全であることを当然の品質と捉え、安定したIT環境を提供することで、企業の活動から人々の豊かな生活まで、社会を根幹から支えます。

安全を高める 豊富な情報ソースを基にした分析により得た、独自情報の積極的な提供により、社会全体のセキュリティレベルを高めます。

先を見通す 次代を先取る先見性を持つと同時に、変化を恐れず、必要に応じて“セキュリティ”を根底から刷新していきます。

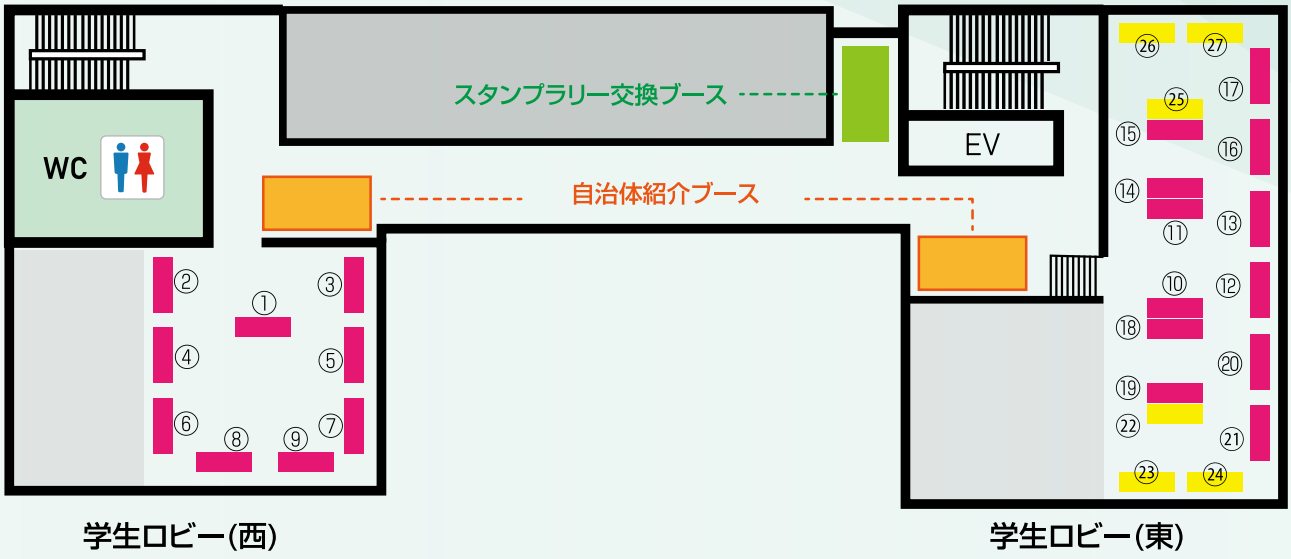
IIJ Internet Initiative Japan

株式会社マキナレコード　https://machinarecord.com/　info@machinarecord.com

出展企業・団体リスト

1 KELA株式会社	15 GCC株式会社
2 SecureNavi株式会社	16 TeamT5株式会社
3 フォーティネットジャパン合同会社	17 株式会社VLCセキュリティ
4 三菱電機デジタルイノベーション株式会社	18 三和コムテック株式会社
5 SCSKセキュリティ株式会社	19 アリスタネットワークスジャパン合同会社
6 ソフトバンク株式会社	20 万記子コミュニケーションズ合同会社
7 独立行政法人情報処理推進機構	21 Babel Street Rosette株式会社
8 株式会社インターネットイニシアティブ	22 株式会社未来研究所
9 株式会社マキナレコード	23 株式会社くまなんピーシーネット
10 Ｓｋｙ株式会社	24 株式会社ラネクシー
11 トレンドマイクロ株式会社	25 一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会
12 国立情報学研究所	26 東京エレクトロンデバイス株式会社
13 日本電気株式会社	27 株式会社ラック
14 Elasticsearch株式会社	

出展ブース配置図



※都合により、実施内容を変更する場合もありますので、予めご了承ください。

1 KELA株式会社

出展のみどころ

独自のインテリジェンスと攻撃シミュレーションにより未把握資産を含む外部リスクを可視化します。実際の攻撃コードで侵入可否を検証し、ダークウェブ監視と併せて「真に対処すべき脅威」を先回りして排除します。

出展品名

- KELA
- ULTRA RED
- Sling

https://www.kelacyber.com/ja/ https://www.ultrared.ai/jp/home https://slingscore.jp/

2 SecureNavi株式会社

出展のみどころ

SecureNaviは、ISMSやPマーク等の第三者認証、規定整備、監査、委託先管理といった「文系セキュリティ」の課題を解決します。気になる点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

出展品名

- ISMS/Pマーク運用効率化「SecureNavi」
- チェックシート回答自動化「SecureLight」
- 委託先/システム等の点検を高度化「2線の匠クラウド」

https://secure-navi-inc.jp/

3 フォーティネットジャパン合同会社

出展のみどころ

サイバーセキュリティの進化、そしてネットワークとセキュリティのコンバージェンスをリードしてきたフォーティネット。50を超える製品ポートフォリオが連携し面で多種多様な攻撃・脅威から守ります。

出展品名

- セキュアネットワーキング
- ユニファイドSASE
- セキュリティオペレーション
- FortiGuard Labs 脅威インテリジェンス

https://www.fortinet.com/jp

4 三菱電機デジタルイノベーション株式会社

出展のみどころ

SIEM×SOCで、各種ガイドラインで求められるログ分析を実現する「セキュリティログ分析サービス」を筆頭に、セキュリティサービスを紹介します。SIEMをどう始めるか悩んでいる方は、ぜひお越しください。

出展品名

- セキュリティログ分析サービス
- マネージドセキュリティサービス

https://www.mdis.co.jp/service/security-log-analysis/

5 SCSKセキュリティ株式会社

出展のみどころ

英国発Searchlight Cyberのダークウェブ情報を活用し、漏洩・脅威を早期発見するモニタリングと攻撃予兆可視化のソリューションを紹介します。

出展品名

- 会社紹介およびDark Webモニタリングサービス

https://www.iij.ad.jp/

6 ソフトバンク株式会社

出展のみどころ

もしもの時に頼れる“サイバー消防隊”として、専門家が攻撃発生時の初動対応や被害最小化、復旧までを支援するサービス「Blackpanda」と、ソフトバンクが提供する様々なセキュリティ対策をご紹介します。

出展品名

- ソフトバンクセキュリティソリューション
- サイバーインシデント対応サービス「Blackpanda」

https://www.softbank.jp/biz/services/security/

7 独立行政法人情報処理推進機構

出展のみどころ

サイバーセキュリティに関する最新の資料や取り組みをご紹介します。気になる点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

出展品名

- サイバーセキュリティ対策関連資料
- 各種ガイドライン、制度のご案内、ほか

https://www.ipa.go.jp/

※都合により、実施内容を変更する場合もありますので、予めご了承ください。

8 株式会社インターネットイニシアティブ

出展のみどころ

IIJが目指すのは、脅威を意識せずに企業が本来の活動に専念し、人々が安心して生活できる未来。IIJは先端技術に取り組むパイオニアとして安心安全な社会に貢献します。

出展品名

- IIJセキュリティ教習所
- IIJ C-SOCサービス
- IIJエンドポイントサービス ブラウジング保護
- IIJセキュリティドクター

https://www.iij.ad.jp/

9 株式会社マキナレコード

出展のみどころ

今急速に注目が高まっている「サイバー（脅威）インテリジェンス」や「能動的サイバー防御」を活用し、サイバー攻撃を事前に探り、被害を防ぐための対策をご紹介。インテリジェンスレポートも無料で配布予定です！

出展品名

- 各種サイバーインテリジェンス製品
- サイバーインテリジェンス人材育成トレーニング
- サイバーインテリジェンスマネージドサービス
- セキュリティ体制構築支援

https://machinarecord.com/

10 Ｓｋｙ株式会社

出展のみどころ

組織のセキュリティ対策を支援するクライアント運用管理ソフトウェア「SKYSEA Client View」、安全な名刺管理と営業力向上をサポートする営業名刺管理「SKYPCE」をご紹介。

出展品名

- クライント運用管理ソフトウェア「SKYSEA Client View」
- 営業名刺管理「SKYPCE」

https://www.skygroup.jp/

11 トレンドマイクロ株式会社

出展のみどころ

「詐欺バスター」は、身近な詐欺の兆しを早期に発見し、被害を未然に防ぐための詐欺対策サービスです。金融機関や交通事業者等各組織のお客様や地方公共団体の住民を守る安心の仕組みをご紹介します。

出展品名

47都道府県での取り組み実績のある詐欺バスターの社会実装の取り組みや昨今高度化するサイバー攻撃への対応策としてAIを活用した取り組みなどをご紹介します。

https://www.trendmicro.com/ja_jp/business.html

12 国立情報学研究所

出展のみどころ

政府統一基準を高等教育機関向けにわかりやすく再構成した「セキュリティポリシーサンプル規程集」と、情報セキュリティ教材コンテンツ「倫倫姫の情報セキュリティ教室」などのご紹介。

出展品名

- 高等教育機関の情報セキュリティ対策のためのサンプル規程集
- 倫倫姫の情報セキュリティ教室
- 『情報の科学と技術』Vol.76No.1(2026.01)抜刷

https://www.nii.ac.jp/

13 日本電気株式会社

出展のみどころ

NECは「.JP（日本のサイバー空間）を守る」をスローガンに日本の安全・安心に貢献。
独自のサイバー脅威インテリジェンスの提供と国産AI技術の活用、グローバルでの推進体制で、お客様を支えます。

出展品名

https://jpn.nec.com/cybersecurity/

14 Elasticsearch株式会社

出展のみどころ

セキュリティログ分析のリーダーである弊社ソリューションは、生成AI、機械学習、Search AIを駆使し、先進的なアプローチで課題を解決し、高い評価を頂いています。

出展品名

【Elasticsearch】
生成AIで大きく変わる実践的な次世代セキュリティ運用！

https://www.elastic.co/jp/

15 GCC株式会社

出展のみどころ

弊社独自の"smartシリーズ"より、在籍証明を付加した本人確認を実現。情報漏洩事故やサイバー攻撃が多発する中、事業を止めず、信頼を守る為の実用的なセキュリティ基盤と具体的な対策をご紹介します。

出展品名

- 「smartTERAS」ブロックチェーン+NFT+AIを使った全国産の強豪なセキュリティシステム
- 「smartNAME」在籍証明書付きデジタル名刺+IDカード

https://www.gcc-crane.com/

16 TeamT5株式会社

出展のみどころ

地政学リスクを背景に高度化するサイバー攻撃に対し、アジア特化の脅威インテリジェンスで意思決定を支援し、プロアクティブなサイバー防御を実現します。

出展品名

- ThreatVision
（脅威インテリジェンス）
- ThreatSonar
（脅威ハンティングツール）

https://teamt5.org

17 株式会社VLCセキュリティ

出展のみどころ

実際のランサムウェア被害対応で培った現場知見をもとに、攻撃前のリスク可視化から、ランサム想定ペンテスト、インシデントレスポンス支援、再発防止までを一気通貫で支援するサービス群をご紹介します。

出展品名

ランサムウェア対策にあたっての各種ソリューション～EASM・脆弱性診断・インシデント対応支援～

https://vlcsecurity.com/

※都合により、実施内容を変更する場合もありますので、予めご了承ください。

18 三和コムテック株式会社

出展のみどころ
高度化・激化するサイバー攻撃への備えとしてSOCからCSIRTまでの迅速な対応が不可欠です。弊社では、次世代SOARの管理ポータルを用意し、多様なSOC運用を可視化・自動化を体感していただきます。

出展品名
StrikeReadyは、次世代SOARです。ワークフローを一元化し、既存ツールとのシームレスな統合と重要プロセスの自動化を実現するプラットフォームです。

https://product.sct.co.jp/product/security/strikeready

19 アリスタネットワークスジャパン合同会社

出展のみどころ
「内側なら安心」は古い。Aristaはスイッチ自体が脅威を隔離する「自律防御」へ。さらにVeloCloudにより、不安定な回線でもWeb会議が途切れない「どこでもオフィス」を実現し、快適な環境を提供

出展品名
ネットワーク内部を守る次世代Zero Trustと、拠点間を安全かつ快適につなぐインテリジェントSD-WAN

https://www.arista.com/jp/solutions/security

20 万記子コミュニケーションズ合同会社

出展のみどころ
サーバートラスト社のiTrustとEXC-9200を活用し、マイナンバーカードや免許証などの対面で厳格な本人確認を実施し、安心安全なデータ活用を可能にしたソリューションを展示します。

出展品名
- 窓口本人確認ツール「EXC-9200」
- データエントリー基盤サービス Premium First
- 各種シールや限定コースター、チラシ等

https://makiko.co.jp/corp

21 Babel Street Rosette 株式会社

出展のみどころ
「OSINT×AIによるサイバーリスク対策」をテーマに、公開情報やダークウェブから脅威の兆候を継続的に監視・把握し、事前対策につなげるソリューションを紹介します。

出展品名
リスクインテリジェンスプラットフォーム：Babel Street Insights（OSINT）、Synthesis（SNS分析・可視化）他

https://mirai-cybersecurity.jp/

22 株式会社未来研究所

出展のみどころ
ASM・脆弱性診断が実施可能な『イージスEW』による診断から、検出された脆弱性の改修までサポートいたします。総務省の要請に対応したフィッシングメール対策プログラム・改修サービスもご紹介しております。

出展品名
- プラットフォーム脆弱性診断・ASMツール『イージスEW』
- 脆弱性改修済みVPN-BOX『セキュアEdge-BOX』（イージスEWと連携可能）

https://mirai-cybersecurity.jp/

23 株式会社くまなんピーシーネット

出展のみどころ

新しい技術に対応した最新のツールの情報公開や、実際の運用をイメージできるよう各種資料をご準備しております！ぜひブースまでお立ち寄りください。

出展品名

- Simple SEIZURE TOOL
- Intella / Belkasoft
- PC-3000
- Sound Cleaner / HX-Recovery

https://www.kumanan-pcnet.co.jp/forensic/

24 株式会社ラネクシー

出展のみどころ

内部不正で多くの導入実績のある弊社開発製品は、サイバーセキュリティでも有効なデータ保護製品です。大規模はもちろんですが、1台からでもスモールスタート可能な導入ラインナップをご用意しています。

出展品名

- 操作ログ管理 MylogStar
- デバイス制御 RunDX

https://www.runexy.co.jp/security-solution/index.html

25 一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会

出展のみどころ

JSSECでは、社会と人の接点となるスマートフォンやIoTなどのスマートデバイスを中心に、セキュリティ課題とその対策の一助となる各種成果物を策定・公開し、普及啓発しています。

出展品名

- スマートフォン利用シーンに潜む脅威 Top10
- Android アプリのセキュア設計・セキュアコーディングガイド
- スマートフォンセキュリティかるた

https://www.jssec.org/

26 東京エレクトロンデバイス株式会社

出展のみどころ

本番環境を止めずに、実戦さながらの“ペネトレーションテスト”を好きなタイミングで何度も自動実行できるツール、PENTERA（ペンテラ）をご紹介します。

出展品名

- PENTERA（自動ペネトレーションテストツール）

https://cn.teldevice.co.jp/

27 株式会社ラック

出展のみどころ

今回のSEC道後では最新の統合SOCサービスxPDR監視・運用サービスを出展致します。本サービスではお客様に代わり検知だけでなく対処までをワンストップで提供。セキュリティ運用負荷を最小化します。

出展品名

JSOC xPDR監視・運用サービス（M365を中心としたゼロトラスト環境の統合監視サービス）

https://www.lac.co.jp/operation/jsocxpdr.html

トレンドマイクロは“詐欺”対策強化を進めています！

トピックス① “ニセ警察詐欺”など詐欺電話・ネット詐欺から守るスマホ向け防犯アプリ「トレンドマイクロ 詐欺バスター」を提供しています。

トレンドマイクロ　詐欺バスターは従来からある特殊詐欺やフィッシング詐欺に加え、ディープフェイクなどAIを悪用した最新の詐欺まで対応しており、詐欺防止に特化した機能で、巧妙化する詐欺の脅威に備えていただけます。

詐欺チェック
（生成AIによる詐欺判定）

ディープフェイク対策
（ベータ版）

詐欺電話対策※1
※1 iPadOSではご利用いただけません

詐欺SMS対策

Web脅威対策

トレンドマイクロ 詐欺バスターは
（公財）全国防犯協会連合会から
詐欺電話への防犯対策として
「推奨」されています

その他の対策機能やサービス
詳細についてはこちら ▶▶▶

トピックス② 他機関と連携した詐欺対策を推進しています。

※2025 年 12 月時点

公的機関協力

サイバー犯罪の啓発を実施

- 47都道府県警察との連携
- 「警視庁特殊詐欺被害防止アドバイザー」受嘱

トレンドマイクロ社員およびサポートスタッフ約700名がアドバイザー証獲得

自治体連携

地域住民のデジタル利用推進

全国11自治体との連携協定締結

神奈川県藤沢市との提携

トレンドマイクロ
詐欺バスター™

本製品の30日間
無料体験版はこちら

iOS/iPadOS版　Android版

アプリをインストールすると30日無料体験版が開始します。体験版の有効期間終了までに有償版を購入していない場合、有効期間終了後自動で一部機能が制限された無料版に切り替わります。
体験版と無料版の機能の違いについてはこちら ▶ https://www.go-tm.jp/sb_trial_ft

@jouhouken
@jouhouken
@jyouhougaku

NII 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所 National Institute of Informatics
https://www.nii.ac.jp/

高等教育機関の
情報セキュリティ対策
のための
サンプル規程集

高等教育機関における情報セキュリティポリシー

高等機関の情報セキュリティ対策のためのサンプル規程集を公開しています。
政府機関等の情報セキュリティ対策のための統一基準(令和7年度改定)」が定める遵守事項に拠準し、更新しています。

のぞいてみようNII 情報犬ビットくん Vol.2

高等教育機関を守る情報セキュリティってどんなもの!?

NIIで仕事に勤しむ「情報犬ビットくん」。ふとしたことからPCがウイルスに感染してしまいます。
原因と対策を求めて情報セキュリティの現場を見学に行き、そこでビットくんが知ったこととは…！？

倫倫姫の情報セキュリティ教室

教材として「倫倫姫の情報セキュリティ教室」を公開しています。
情報セキュリティ分野の変化・進歩に合わせて内容の更新を行い、日本語・英語・中国語・韓国語に対応しています。

これからの「ソフトウェアづくり」との向き合い方

丸善ライブラリーから「情報研シリーズ」の第25弾が刊行。
今日の社会で重要な役割を果たすソフトウェア。構築・運用する側は勿論のこと、「そのソフトウェアが何をすべきか」を決め、企画や発注、十分性判断等を行う組織・ビジネス側も、ソフトウェアで何ができないのか、何が難しいのか、だから何に注意すべきなのかを把握しておく必要があります。
本書では、幅広い読者がソフトウェアづくりにおける考え方を知ることができるよう、開発、品質保証、運用のための活動やその際の原則を概観。AI 活用による大きな変化と、これからのソフトウェアづくりへの関わり方に迫ります。

NII Today No.106
[特集]大学をUP! DX戦略が拓く大学変革

大学におけるDX化の現状、データ管理、人材育成、AIの活用、そしてオンライン講座など大学教育のありかたと、さまざまな課題。それらについて、大学共同利用機関としてのNIIは大学UP！にどのように貢献できるのか、考察します。

国立情報学研究所 情報犬ビットくん LINEスタンプ

国立情報学研究所の研究や事業の活動を幅広い年齢層に伝えるために誕生した公式キャラクター「情報犬ビットくん」のスタンプです。売上は小・中学生や高校生等を対象として、情報学の啓発活動にあてられます。

NEC \Orchestrating a brighter world

インテリジェンス駆動型次世代サイバーセキュリティサービス

CyIOC

NEC独自のインテリジェンスとAI技術を融合した次世代サイバーセキュリティサービス「CyIOC（サイオック）」は、NISTサイバーセキュリテフレームワーク（CSF）(*)におけるIdentify（識別）・Protect（防御）からRecover（復旧）に加えて、Report（報告）も含めた包括的な支援を提供することで、高効率で高精度な防御を実現します。

（※）組織や企業におけるサイバーセキュリティへの対応の開始や改善に向けて、
NIST（米国国立標準技術研究所）が提示したサイバーセキュリティのフレームワーク

「.JP（日本のサイバー空間）を守る」

NECは「.JP（日本のサイバー空間）を守る」をスローガンに日本の安全・安心に貢献。

独自のサイバー脅威インテリジェンスの提供と国産AI技術の活用、グローバルでの推進体制で、日本のデジタルインフラの安全性確保と海外拠点・サプライチェーンを含むお客様の安定的な事業・サービス提供を支えます。

CyIOC Cyber Security Protection Package

専任のCyber Threat Intelligenceチームによる独自インテリジェンスを活用した監視・分析・防御・一次対処を支援する「CyIOC Cyber Security Protection Package」を2025年11月から提供開始

■ NEC　サイバーセキュリティ事業統括部
■ ＜詳細情報・お問い合わせ＞　https://jpn.nec.com/cybersecurity/

elastic

Elastic Securityが選ばれる理由

AIを活用したセキュリティ分析は、SIEMの未来の姿

Search AI Platformで、かつてないスケールの保護を実現

Elastic Securityは、オープンで透明性の高いプラットフォームです。運用の自由度が高く、セキュリティから検索、オブザーバビリティまで、さまざまなユースケースにこれひとつで対応できます。また、画期的なデータストレージと関連性機能により、セキュリティのワークフローを最適化することもできます。

Elasticの強み	従来のSIEMプロバイダー
費用対効果の高いオブジェクトストレージで、数年分のデータを保持。データはわずか数秒で検索可能で、隠れた脅威や新手の攻撃のマーカーの特定にも対応できます。	法外な料金を取っていながら、分析の際には小さなデータを次々と取り込む作業が必要です。データ侵害の可能性が高まるほか、侵害の期間が長引くリスクもあります。
Elasticのクラスター横断検索により、さまざまな地域やクラウドに分散したデータを一元的に分析。遅延や追加費用もなくシンプルで、バックホールのプライバシーの問題も心配ありません。	環境の複雑さが増し、ストレージのデータ量が増加している現在の状況では、データを正常に分析するのは困難です。ハイパースケーラーやリージョンをまたいだデータ分析となると、その傾向はいっそう強まります。
検索拡張生成（RAG）により、組織の文脈を反映した意味のあるAI応答を実現。費用、スピード、プライバシーなどの要素に統制を維持しつつ、統合するLLMを選択できるほか、モデルのトレーニングも不要です。	利用できるAIモデルに制限があるほか、モデルの統合にも問題があるため、取り込んだデータが進化する侵害や脅威の指標の検出に役立ちません。

AIを活用したセキュリティ分析でワークフローを合理化

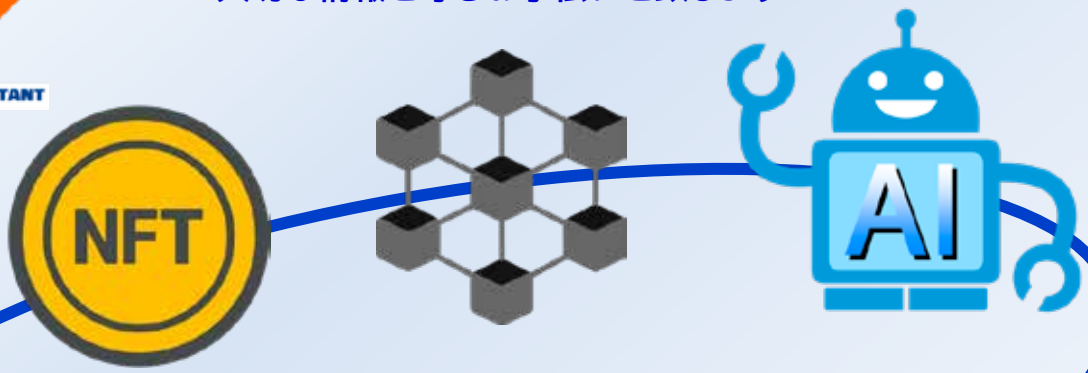
強力なAIを幅広くデプロイし、アナリストの生産性向上から、攻撃対応の優先順位の決定、SIEMのシンプル化まで、セキュリティチームに多大なメリットをもたらします。

Elasticの強み	従来のSIEMプロバイダー
自動インポートによりカスタムデータ統合の作成を自動化し、従来のSIEMから簡単に移行できます。さらに、オンボードにかかる時間も10%削減できます。	データの移行が複雑な作業で、大量のリソースが必要になります。特に、データセットが古かったり、組織の現在の基準に対応させることが難しかったりすると、その傾向はいっそう強まります。
Elastic AI Assistantでクエリや検出ルールの作成と変換を効率化できます。また、Attack Discoveryではリスクを軽減できるだけでなく、無駄なアラートを最小限に抑えられます。	クエリの作成が複雑で難解です。作成には時間かかるうえ、ドメイン、クエリ言語、結果の解釈について専門知識を持ったベテランが必要です。
生成AIを活用した支援とエキスパートが作成した調査ガイドにより、現在のスキルを問わずアナリストをレベルアップできます。	複雑であるため経験年数の少ないアナリストにはわかりづらいほか、従来型のSIEMの経験が豊富な専門家も減少傾向にあります。

GCC株式会社

～大切な情報を守るお手伝いを致します～

GLOBAL COMPUTER CONSULTANT



弊社独自の強固なセキュリティシステム

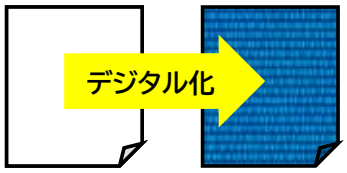
NFT＋BLOCK CHAIN＋AI

MADE IN JAPAN

smartシリーズ

スマートテラス smart TERAS

大切な“デジタル”の情報はもちろん！
“紙”から“デジタル”へ



唯一無二のデジタル資産とされた情報
➡ブロックチェーンで
「改ざん不可能」

書換や偽造からしっかり守り、更新履歴を記録します

このようなデータ管理に最適！

- ・あらゆる文書・書類、知的財産、ペットの血統書
- ・医療カルテ、不動産取引管理(地面師対策)
- ・CAD図面等設計関連データ、資格　　等々

AIで様々に育成も可能！

- ・真贋・鑑定士として
- ・経理部門の管理サポートとして
- ・生産管理部門の管理サポートとして

スマートネーム smart NAME

デジタル名刺
（在籍証明機能付IDカード）

その他にも･･･

●社員証として　●会員証として　●学生証として

IDカードに付随する情報は様々！

出勤・入退室の管理
社員食堂・学生食堂の決済
身分証明書・デジタル名刺
施設の利用履歴・貸出履歴の管理
資格の管理　　etc･･･

カード表面に個人情報を載せる必要なし
発行元企業・学校が基本的な個人情報を
しっかり管理！
なりすましを許しません

偽造されない証明書へ

https://gcc-crane.com

組み合わせて更に強固に守ります

TEAMT5

東アジアの脅威を知り、見抜き、守る

300社以上 グローバル顧客

1,000件以上 インシデント対応

100人以上 技術専門家

20年以上 脅威リサーチ

東アジアにおけるサイバー脅威防御のリーダー

280以上 脅威アクターグループ追跡

2,900以上 マルウェアファミリー追跡

ThreatVISION

東アジアに特化した
脅威インテリジェンスプラットフォーム

ThreatSONAR

潜伏脅威を可視化する
脅威ハンティング＆高速フォレンジック

Managed Detection and Response

Incident Response

専門家によるマネージド検知・迅速対応 **サービス**

ランサムウェア対策ソリューション

マルウェア感染調査サービス

ご利用のエンドポイント (PC端末、サーバー等) にマルウェア (情報の窃取や破壊活動を意図する不正なプログラムやソフトウェア) が潜入し、動作をしているかを明らかにします

- **マルウェアの潜入状況**
- **OS/アプリケーションの脆弱性**
- **IT資産状況**
  (非管理端末、アプリケーションの利用状況)

ホワイトハッカーが調査・レポートします

提供単位等	価格
• 調査端末数200台まで一律の価格、200台を超える調査をご要望の際は費用が変更となります	ご提供価格 300万円

ランサム想定ファストペンテストサービス

ネットワーク環境に対し、外部からのマルウェア侵入を想定した疑似的なサイバー攻撃を実施し、その攻撃に対する技術的セキュリティ対策状況を明らかにし、対策の改善を提言します

- **初期潜入における対策状況**
- **基盤構築における対策状況**
- **内部潜入における対策状況**
- **目的遂行における対策状況**

それぞれの攻撃フェーズにおけるセキュリティ対策状況を確認し、評価します

提供単位等	価格
• お見積りは評価対象の端末とネットワーク環境を単位としております • 1端末・1環境を最小単位とします • 当社営業時間外 (夜間・休日等) の対応は追加費用が発生します	ご提供価格 250万円

Active Directoryリスクアセスメント

攻撃者のターゲットになりやすいActive Directoryをモニタリングし、環境内にあるリスク(アカウント・パスワード設定など) を可視化します

- **AD管理下の権限不備の監査**
- **認証認可設定の監査**
- **AD運用ポリシーの監査**

ホワイトハッカーが調査・レポートします

提供単位等	価格
• 1AD環境での実施を想定しています。対象環境数が増える際は費用が変更となります	ご提供価格 50万円

お問合せ

株式会社VLCセキュリティ 営業本部

105-0001東京都港区虎ノ門4丁目1-40 江戸見坂森ビル2階

TEL：03-4500-6500　FAX：03-4500-6501

SCT
SANWA COMTEC K.K.

まずは現状把握から。
脆弱性を可視化し、確かな対策へ

多様化するIT環境の中で、自社のセキュリティ対策は十分と言えるでしょうか。
当社は、可視化・診断・運用改善を一体で支援し、
日本企業の実効性あるセキュリティ運用を実現します。

三和コムテック株式会社

最新のセキュリティ情報を基に、サイバー攻撃に対する診断から対策まで一貫して支援します。
3,000社・1,500万回以上の実績をもとに、各業界のセキュリティ強化に寄り添ってサポートします。

事業内容：Webセキュリティ、IBMi製品、RPA販売、等

セキュリティ診断
3,000社以上

PCIDSS準拠診断
300社以上

業種
官公庁 決済代行 金融
人材派遣 出版等

Strike Ready × セキュリティ診断

セキュリティ運用可視化「Strike Ready」

複数のセキュリティツール・ログ・アラートを統合し、
自社のリスク状況をリアルタイムで可視化。
属人かしないセキュリティ運用へ

各種セキュリティ診断

現状のリスクを客観的に把握し、改善点を明確化

(脆弱性診断（Web／NW）・ペネトレーションテスト・委託先/サプライチェーン調査)

導入企業の変化

- 潜在的な脆弱性を可視化し、リスクを正確に把握
- 対応すべき優先順位が明確化
- 自社のセキュリティレベルを客観的に評価可能に
- 継続的な診断により、改善サイクルを確立

セキュリティ対策は、「導入すること」ではなく“自社の状況を正しく把握すること”から始まります。

貴社にとって最適なセキュリティ体制づくりを私たちが伴走支援いたします。
まずはお気軽に、ブースまたはQRよりご相談ください。

＜お問い合わせ＞

三和コムテック株式会社
Tel：03-3583-2518
e-mail：sales@sct.co.jp
https://www.sct.co.jp

SCT
SANWA COMTEC K.K.

セキュリティ診断と対策は
豊富なメニューと長年の実績を持つ三和コムテックにお任せください

Webサイト　資料ダウンロード　セキュリティ無料相談会

特報

万記子コミュニケーションズ

ブースのご案内

顔認証付き
カードリーダー
「EXC-9200」を
展示いたします

ノベルティシール（全種）や
ブースのみ配布のシール、
コースターも用意しています。

万記子コミュニケーションズ合同会社

セキュリティ研修など自治体お手伝いの
ご相談　　髙倉：takakura@makiko.co.jp

会社概要

BABEL STREET

- **本社：Babel Street Inc.**
  - 所在地：米国バージニア州（ワシントン D.C. 近郊）
  - 2009年創業：OSINT（Open-Source Intelligence）ソリューション提供～
  - 支社：ロンドン、テルアビブ、キャンベラ、オタワ、東京
- **日本法人：Babel Street Rosette 株式会社**
  - 所在地：**東京都港区虎ノ門1-17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー15F**
  - 2000年創業：Rosette（NLP自然言語）ソリューション提供～
  - 問い合わせ先：**info-rosette@babelstreet.jp**

プラットフォーム概要

1. Babel Street **Insights**
オープン情報を用いた高度な分析

- 様なオープン情報を柔軟に分析できる **OSINT** プラットフォーム
- **SNS** や**モバイル**端末、**Dark Web** まで

2. Babel Street **Data**
アクセス困難なデータを安全に提供

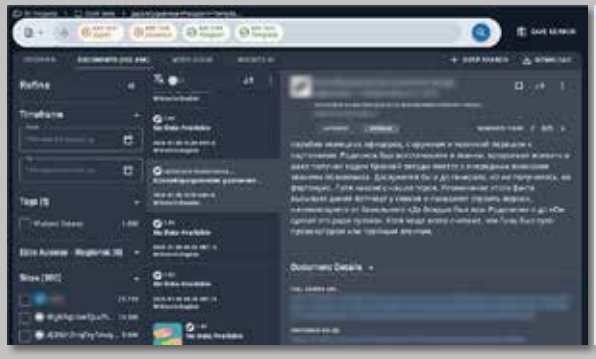
- 仮想デスクトップと多段VPNによる、**閉鎖的地域への安全なアクセス**
- オーダーに応じた**データ収集・提供**

3. Babel Street **Modules**
多言語対応の高精度な自然言語処理

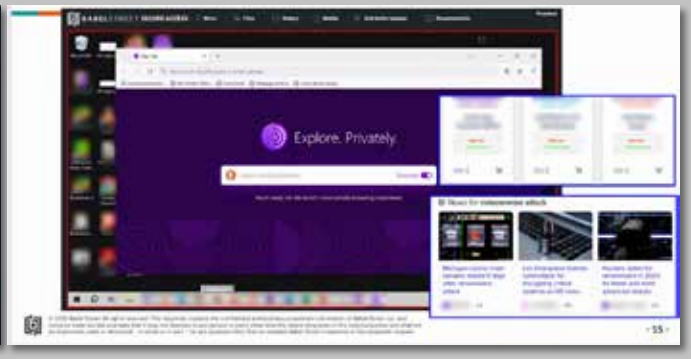
- **多言語**での**自然言語処理**をサポート
- **言語を横断して、人名・企業名**の名寄せを高度に実現する**名称照合**

情報セキュリティへの取組み：

OSINTプラットフォームを活用し疑わしき情報を素早くキャッチ、特定しにくいオニオンURLを把握して Managed Attribution/Web Isolation を可能にする仮想マシン上でTorブラウザから実際のダークウェブページを確認して法執行機関等と連携し素早く対応できる環境をご提供しています。



偽造パスポート販売の疑いがある例



ダークウェブ閲覧例ダークウェブ閲覧例

実施体制

❖ 実行委員長

小　林　真　也　　松山大学 情報学部情報学科 教授

❖ 副実行委員長

宮　内　　隆　　（株）愛媛ＣＡＴＶ 代表取締役社長
村　上　理　一　　総務省 四国総合通信局 情報通信部長

❖ 実行委員

井　上　　仁　　（株）愛媛ＣＡＴＶ 専務取締役
森　岡　照　生　　愛媛県 企画振興部デジタル戦略局 スマート行政推進課 課長
亀　山　裕　司　　NTT西日本（株）四国支店 副支店長
中　井　　寛　　（株）愛媛新聞社 営業局次長兼デジタル開発部長
光　芳　啓　二　　松山市 総合政策部 デジタル戦略課長
上　岡　雅　展　　愛媛県警察本部 生活安全部 サイバー犯罪対策課 課長
岡　崎　利　樹　　愛媛県警察本部 生活安全部サイバー犯罪対策課 サイバー犯罪対策課長補佐
成　本　　純　　総務省四国総合通信局 電気通信事業課 課長

❖ 顧　問

辻　井　重　男　　中央大学研究開発機構 フェロー・機構教授
一般社団法人セキュアIoTプラットフォーム協議会 理事長
東京工業大学（現 東京科学大学）名誉教授
下　村　正　洋　　NPO法人日本ネットワークセキュリティ協会 幹事・事務局長

❖ プログラム検討委員

小　林　真　也　　松山大学 情報学部情報学科 教授
村　上　理　一　　総務省四国総合通信局 情報通信部長
森　井　昌　克　　神戸大学大学院 名誉教授・特命教授
西　本　逸　郎　　（株）ラック技術顧問 JSSEC顧問
佐　藤　公　信　　国立開発研究法人情報通信研究機構（NICT）
サイバーセキュリティネクサス・研究マネージャー
岡　崎　利　樹　　愛媛県警察本部 生活安全部サイバー犯罪対策課 サイバー犯罪対策課長補佐

❖ 特別協力者（五十音順）

岩　内　孝　則	（株）NTTデータ四国 取締役経営企画部長
岩　崎　祐　也	松山大学情報学部 講師
浦　山　康　洋	松山大学情報学部 准教授
甲　斐　　博	愛媛大学大学院 准教授
柏　木　紘　一	松山大学情報学部 准教授
兼久　信次郎	日本Android の会 四国支部支部長
川　邉　勇　一	（株）ウイン 第二営業課 課長
黒　田　久　泰	松山大学情報学部 教授
島　田　　毅	松山大学 情報学部 教授
曽　根　直　人	鳴門教育大学大学院 教授
竹　島　　誠	ドコモCS四国愛媛支店 担当部長
富　永　竜　也	（株）ＳＴＮｅｔ 愛媛支店 営業部長
正　岡　洋　昭	富士通株式会社 情報セキュリティ本部 デジタルセキュリティ統括部
松　浦　一　雄	松山大学情報学部 教授
宮　﨑　志　織	松山市 総合政策部 デジタル化推進課 主事
八　尾　　崇	（株）ラック コンサルティング統括部 アカウントコンサルティングサービス部 シニアコンサルタント
渡　部　博　之	河原電子ビジネス専門学校 教務課長

【継続教育ポイントの付与について】

本シンポジウム参加者には、以下資格の種類に応じて継続教育ポイントが付与されます。

① CISA（公認情報システム監査人）/CISM（公認情報セキュリティマネージャー）/CGEIT/CRISC
② CISSP/SSCP/CCSP
③ ITコーディネータ
④ CDFP-P（デジタル・フォレンジック・プロフェッショナル認定　実務者資格）

※詳細は以下をご確認ください。
https://www.sec-dogo.jp/education/

【実行委員会事務局】
〒790-0067　愛媛県松山市大手町1-11-4（一般社団法人テレコムサービス協会四国支部事務局内）
TEL 089-956-3555（星企画内）　FAX 089-956-3556（星企画内）
E-mail : dinfo@sec-dogo.jp　※会期中のお問い合わせ先　TEL050-5234-3037